



対応機種

Windows搭載(DOS/V)/パソコン
(ただし、USBポートを持ち、パソコンの本体がUSBポートの動作を保証している機種)

対応OS

Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP

最初に
ご確認ください

取扱い
区域

- ワイヤレスキーボード 1台
- ワイヤレスマウス 1台
- レシーバー 1台
- 単三乾電池(テスト用) 2本
- 取扱説明書(本書) 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

ハードウェア仕様

<キーボード仕様>

キー数・キーピッチ	105・19mm
キーストローク動作力	3.5±0.3mm・60±15g
サイズ・重量	W390×D122×H21mm・約380g
バッテリー寿命	連続動作時間約228時間、使用可能日数約4ヶ月間(アルカリ乾電池使用時) ※弊社内のテスト値であり、保証値ではありません。

<マウス仕様>

分解能	800/1200/1600count/inch
読み取り方式	ブルーLEDセンサー方式
ボタン	2ボタン、2サイドボタン、ホイール(スクロール)ボタン、カウント切替えボタン
サイズ・重量	W72.9×D105.2×H35.8mm・約60g(電池含まず)
バッテリー寿命	連続動作時間約120時間、連続待機時間約28000時間、使用可能日数約2ヶ月間 ※1日8時間パソコンを使用中、マウス操作25%程度行う場合、(アルカリ乾電池使用時) ※弊社内のテスト値であり、保証値ではありません。

<レシーバー仕様>

ワイヤレス方式	RF2.4GHz
受信距離	約10m ※使用環境によって異なります。
※2.4GHzはBluetoothや無線LANと同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。	
インターフェース	USB HID 1.1準拠
コネクタ	USB Aコネクタオス
サイズ・重量	W14.5×D19×H6.5mm・約2g

<対応機種・OS>

対応機種	Windows搭載(DOS/V)/パソコン
対応OS	Windows 10・8.1・8・7・Vista・XP

付属品	レシーバー、テスト用単三乾電池2本(キーボード・マウス用各1本)、取扱説明書
-----	----------------------------------------

- ※ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割付けられている特殊機能(画面の明度調整やボリュームのアップダウンなど)はこのキーボードからは操作できません。
- ※Windowsが起動する前のコマンド(BIOSの設定、SCSIボードなど)の設定はできない場合があります。(パソコン本体に依存します)
- ※パソコンの機種・BIOSによっては、スリープモード(スリープモード)、スタンバイモード後にUSBキーボードを認識しない場合があります。この時は接続しているUSBコネクタを一度引き抜いてからもう一度接続し直してください。
- ※本製品は日本語Windowsのみサポートしております。日本語以外のWindowsでご使用になる場合、キー配列が異なります。
- ※記載されている名称・製品名は、各社の商標または登録商標です。



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

サンワサプライ株式会社

- 岡山サブライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123
- 東京サブライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033
- 札幌営業所 / 〒060-0808 札幌市北区北八条西4-1-1 (アストルビル) N8 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8890
- 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区緑ヶ丘1-6-37 蓬莱仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633
- 名古屋営業所 / 〒463-0215 名古屋市中区南1-6-7 アラジヤビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033
- 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-4 5新大阪八千代ビル TEL.06-6395-6310 FAX.06-6395-6315
- 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20-2 博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

BH/AC/TTDaNo

1.はじめに

このたびは、静音ブルーLEDマウス付きワイヤレスキーボード「SKB-WL25SETシリーズ」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は、2.4GHzデジタル無線方式採用のワイヤレス日本語キーボード・ワイヤレス静音ブルーLEDマウスです。
(標準キーの配列は、109A日本語キーボードに準拠しています)

※本製品をご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

- 本書の内容を許可なく転載することは禁じられています。
- 本書の内容についてのご質問やお気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社までご連絡ください。
- 本書の内容については予告なしに変更することがございます。
- 本書に記載しているソフトウェアの画面やアイコンなどは実際のものとは異なることがあります。

取扱い上のご注意

- 航空機内では、計器に影響を及ぼす可能性があるためご使用にならないでください。
- 本製品は電気で動作しておりますので、発火する恐れがあります。万が一煙が出たり変なにおいがした場合、本製品及び接続しているパソコンや機器の電源を切り、お買い上げの販売店又は、弊社までご連絡ください。
- 雷がなっている時に、本製品に触れないでください。
▲落雷により感電する恐れがあります。
- 本製品のカバーを開けたり、分解しないでください。
▲故障や感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で本製品に触らないでください。
▲本製品がパソコンに接続されている時には、感電する恐れがあります。
- 本製品内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。
▲感電や火災、故障の原因となることがあります。
- 本製品に強い振動や衝撃を与えないでください。
▲故障・破損などの原因となることがあります。
- 本製品を水分や湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や暖房器具のそばなどの高温となる場所に設置したり、保管しないでください。
▲故障・感電などの原因となることがあります。
- 本製品を重ねて設置したり、本製品の上に重いものを置かないでください。
▲火災や故障の原因となることがあります。
- 本製品は不安定な場所に設置したり、保管しないでください。
▲落下により故障・破損の原因となることがあります。
- 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失についての保証はいたしかねます。
- 定期的なバックアップを取るなどの対策をあらかじめ行ってください。
- 本製品のお手入れをする場合には、ベンジンやシンナーなどの揮発性有機溶剤が含まれているものは使用しないでください。
▲塗装を痛めたり、故障の原因になることがあります。乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。
- 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 本製品は日本国内用で作られております。日本国外の規格等には準拠しておりません。

2.本製品を使用する際の注意

本製品は2.4GHz周波数帯域を使用しています。
2.4GHzはBluetoothや無線LAN機器と同じ周波数帯域であり、同じ周波数帯域を使用する他の機器に影響を与えることがあります。

この機器の使用周波数帯域は2.4GHz帯です。この周波数では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局等(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変更するか、又は機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。

3.安全にご使用いただくために

本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。

- 製品を分解したり、改造しないでください。
- 0℃～40℃の気温環境でお使いください。
- 本製品に衝撃を加えないようにしてください。
- 保証規定をよく読み正しくお使いください。

4.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。
また日常のパソコン操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

5.快適な使用方法

- 手首はまっすぐにのばし、指は少し曲げた状態にする。
- 手はキーボード上で肘に対して少なくとも90°になるようにする。
- 肩に力を入れたり、肩をすくめず、余分な力を入れない。
- 15分間タイプする度に、1～2分休憩をとってください。
- 腕や肘を休めるため、手置き台(ハンズレスト)や肘付椅子の併用をしてください。
- 画面を見るときは、心持ち目線が下がるように椅子の高さを調節してください。
- 窓より少なくとも2mは離れて、自然光の入ってくる場所で、画面のコントラストを調節してください。画面にはCRTフィルタを装着することを推奨します。
- キーボード底面には、キーボードの角度(高さ)が調節できるようにツメが2ヶ所についています。お好みによって入力しやすい角度を選んでください。

⚠️ **注意** スタンドを立てるときには、必ず両方のスタンドを立ててください。スタンドは完全に立てるか、全く立てないかのどちらかにしてください。中途半端な状態では使用しないでください。

6. 特長

キーボード

- 深くしっかりとした、安心感のあるキータッチを実現したメンブレンキーを採用しています。



- キーボードは余分なスペースを廃したスッキリとしたデザインで、省スペースで使用できます。



- 底面に付いているスタンドで、角度調整が可能です。



- 超小型レシーバー、2.4GHz帯の周波数を使用しているため、従来のワイヤレスと比べて電波の到達距離が格段に長くなっています。約10m離れた場所からでも快適に操作できます。



「Fn」キー

①～⑬のマルチメディア機能は「Fn」キーと同時に押すことにより機能します。

- | | |
|-------------------|-----------------------------------|
| ① マルチメディアプレーヤーの起動 | ⑧ 検索 |
| ② 再生一時停止 | ⑩ お気に入り |
| ③ 前のトラック | ⑪ メール |
| ④ 次のトラック | ⑫ キーボードロック |
| ⑤ ボリューム+ | ⑬ マイコンピュータ |
| ⑥ ボリューム- | ⑭ NumLock/電池残量LED (電池残量が少なくなると点滅) |
| ⑦ 消音 | ⑮ CapsLock LED |
| ⑧ インターネットホーム画面 | ⑯ 電池収納部 (単三乾電池を1本収納します) |

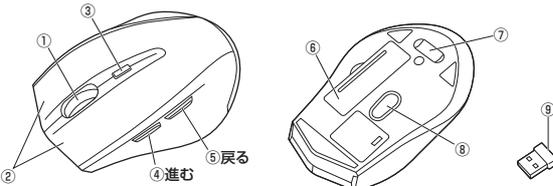
注意

※ ノートパソコンや各メーカー純正キーボードのファンクションキーにあらかじめ割り付けられている特殊機能(画面の明度調整など)は、このキーボードからは操作できません。

6. 特長(続き)

マウス

- クリック音とホイール回転音が非常に静かで、周りに迷惑をかけずにマウス操作ができます。夜中、朝方などの静かな時間帯や、公共施設や会議室などの静かな空間での使用に最適です。
- 2.4GHzRF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、快適な環境でのパソコン操作が可能となります。
- 14.5×19mmの超小型レシーバーなので、ノートパソコンに装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。



- ① ホイール(スクロール)ボタン …… インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

- スクロールモード
インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。
- スムーズ
スムーズはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、スムーズが簡単に入ります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。
- 「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

- ② 左ボタン・右ボタン …… 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行います。またポップアップメニューの表示も行うことができます。
- ③ カウント切替ボタン …… 分解能を800→1200→1600→800カウントに切替えることができます。
- ④ 進む・戻るボタン …… Webブラウザでの「戻る」「進む」の操作がスピーディーに行えます。
- ⑤ 電池カバー …… このカバーを取出して、電池を入れます。
- ⑥ レシーバー収納スロット …… レシーバーを収納することができます。
- ⑦ ブルーLEDセンサー …… 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を表現します。
- ⑧ 超小型レシーバー …… 14.5×19mmの超小型レシーバーなので、装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

注意

※ マウスに触れない時間がしばらく続くと、マウスがスリープ状態になります。スリープ状態から復帰するにはマウスをクリックしてください。
※ 使用環境により使用範囲が短くなることがあります。
※ ステール製の机の上では正しく動作しないことがあります。

7. キーボード・マウスのセットアップ

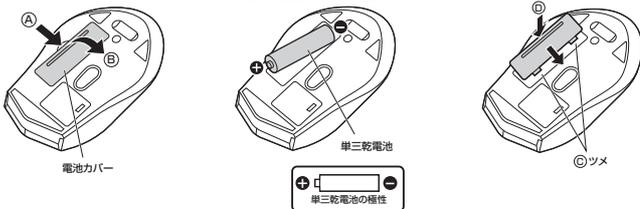
1. パソコンのUSBポートを、確認してください。(多くのパソコンではUSBのアイコンがついています)
2. パソコンの電源が入っている状態 (Windowsが完全に起動した後) で、パソコンのUSBポートに小型レシーバーのUSBコネクタを接続します。
3. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」の画面が現れます。
4. 必要なドライバは数分で、版次自動的にインストールされます。
※ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が画面から消えた後もしばらく(約1分程度)インストールは続いています。
ハードディスクの動作が安定するまで、お待ちください。
5. 以上でUSBレシーバーの認識完了です。



8. キーボード・マウスの準備

マウスの準備(電池の入れ方)

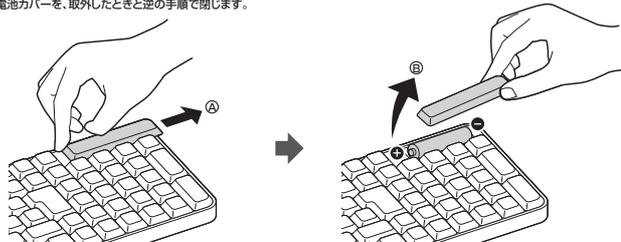
1. マウス裏面の電池カバーを(A)方向に押してから(B)方向に開き、取出します。
2. 付属の単三乾電池を電池収納スロットに入れます。
※ 正しい極性を入れてください。
3. 電池カバーの(C)部分のツメを差し込んでから、(D)方向に閉じます。



※ マウスを動かしている際、カソルの動きがスムーズでなくなったり、ブルーLEDセンサーが点灯しなくなったり、電池を交換してください。
※ 電池交換の際には、新品の単三アルカリ乾電池をご利用ください。(付属の電池はテスト用ですので、電池寿命が短くなります)
※ 空になった電池をマウス内に置いておくと液もれの原因になりますので、取出しておいてください。

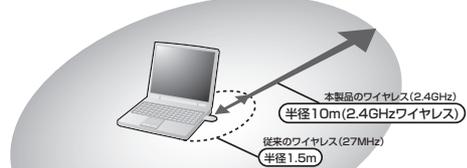
キーボードの準備

1. キーボード表面の電池カバーを(A)方向に押してから(B)方向に持ち上げ、取出します。
2. 付属の単三乾電池1本をキーボードに入れます。※ 正しい極性を入れてください。
3. 電池カバーを、取出したときと逆の手順で閉じます。



9. 受信距離

レシーバーとマウス・キーボードの受信距離は最大約10mです。(障害物のない、直線距離の環境において)



※ ただし、金属製の机など電波障害のおこりやすい環境でのご使用の場合、受信距離が短くなる場合があります。

Windows 7またはWindows 10・8.1・8パソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について

インターネットに接続されたWindows 7やWindows 10・8.1・8のパソコンで、マウスを接続してもしばらく認識しない場合があります。このような場合、初期USB機器接続時のドライバのインストール中、Windowsが最新ドライバを自動的に検索する機能が働いている場合があります。使用可能なマウスやタッチパッド/タッチパネルを下記解決方法をお試しください。

最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ

- 最初に接続すると、タスクバー右下に下記のようなメッセージが出ます。(このウィンドウは、設定に関係なく表示されます)
- ウィンドウをクリックすると、ドライバのインストール状況が確認できます。
- ここで、「Windows Updateを探索しています…」と表示され、しばらく検索が続きます。



■解決方法

- [1] 使用されているパソコンのインターネット接続を無効にする。
パソコン本体のワイヤレススイッチをOFFにしたり、ケーブルを抜くなどでネットワークから切り離してください。
- [2] Windowsのドライバインストール設定を変更する。
下記、手順①は、OSバージョンにより操作方法が異なります。ご使用のOSの項目をご覧ください。

- | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>① <Windows 7の場合>
(変更後は元に戻されることをお薦めします)</p> <p>「スタートメニュー」を開き、「デバイスとプリンター」を開きます。</p> | <p>② <Windows 10・8.1・8の場合>
(変更後は元に戻されることをお薦めします)</p> <p>・画面左下にある「Windowsマーク」にカーソルを合わせ、右クリックします。</p> <p>・「コントロールパネル」を選択します。</p> <p>・「ハードウェアとサウンド」内の「デバイスとプリンター」を開きます。</p> |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

<各OS共通>

- ② 使用しているパソコンのアイコンが出ますので、右クリックします。
- ③ 表示されるメニュー内の「デバイスのインストール設定」をクリックします。
- ④ 「いいえ」を選択し、「[コンピューター上で...]」か「[Windows Updateから...]」を選択し、「変更の保存」をクリックして完了です。その後、USB機器の接続を行ってください。



[3] Windows Updateの検索をスキップする。

ドライバインストール時の状態表示ウィンドウで、「最新ドライバを自動検索している時に表示されるウィンドウ」を参照し「Windows Updateからのドライバソフトウェアの取得をスキップする」をクリックします。すると、自動的に検索がストップしますが、完了するまでに時間がかかります。場合によっては、解決できないことがあります。

